

<第3部 計画の推進>

推進方策の目標

計画の進行管理については、目標に対する達成状況を把握するとともに、各年度の進行状況を調査・分析し、その時点における様々な要因による変化や国の動向等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

愛知県特別支援教育連携協議会や愛知県障害者施策審議会の関係会議等で、進捗状況の確認や評価を実施することで、PDCAサイクルによる計画の進行管理を確実に進めていきます。

項目	現況		目標	
	年度	数値等	年度	数値等
第1章 多様な学びの場における支援・指導の充実				
1 全ての校種に期待される学びの場としての役割				
2 幼稚園・保育所等、小中学校				
1 校（園）内支援体制の充実				
校（園）内支援体制を支える専門研修の充実	H30 (2018)	12 講座実施	2023	毎年度
2 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成率向上 (特別な支援を必要とする幼児児童生徒対象) ※名古屋市・私立を除く				
個別の教育支援計画作成率				
幼稚園	H29 (2017)	86.2%	2023	100%
小学校		81.8%		
中学校		75.9%		
(通常の学級)				
個別の指導計画作成率				
幼稚園	H29 (2017)	98.3%	2023	100%
小学校		81.0%		
中学校		72.8%		
(通常の学級)				
支援情報の引継ぎ率 ※名古屋市立中学校を除く				
公立中学校から高等学校等への引継ぎ	H29 (2017)	42.0%	2023	100%
3 適切な教育支援の推進				
早期教育相談体制の充実	H29 (2017)	県内7会場 で実施	2023	毎年度
4 特別支援学校との連携強化				
障害種別に応じた教育充実強化モデル事業の実施	H29 (2017)	2 市町	2023	毎年度
5 関係機関によるネットワークの形成				
市町村特別支援教育連携協議会の実態調査、取組の発信	H29 (2017)	—	2023	毎年度

項目	現況		目標	
	年度	数値等	年度	数値等
(第1章 多様な学びの場における支援・指導の充実)				
3 高等学校				
1 校内支援体制の充実 (特別な支援を必要とする生徒対象) ※名古屋市立中学校を除く				
支援情報の引継ぎ(再掲)	H29 (2017)	42.0%	2023	100%
2 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成率向上 ※名古屋市・私立を除く				
特別な支援を必要とする全ての生徒の個別の教育支援計画・指導計画の作成	H29 (2017)	支援計画 64.2% 指導計画 77.2%	2023	100%
3 特別支援学校との連携強化				
交流及び共同学習への取組	H29 (2017)	33校	2023	毎年度
4 特別支援学校				
1 障害の重度・重複化、多様化への対応				
中学部3年生時に重複障害学級に在籍した生徒の高等部重複学級設置(知的障害特別支援学校)	H30 (2018)	1学級	2023	実態に応じ設置
2 地域における教育的資源の有効的な活用				
モデル事業の教育的効果	H29 (2017)	肢体不自由	2023	他障害種への拡充
3 医療的ケアの充実				
医療的ケアが必要な児童生徒数に応じた看護師の配置	H30 (2018)	看護師62人 〔常勤7人〕 〔非常勤55人〕	2023	配置拡大
4 外国人等語学支援の必要な幼児児童生徒への対応				
語学支援員の配置	H30 (2018)	—	2023	拠点校配置
5 児童生徒への心のケア				
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置	H30 (2018)	—	2023	拠点校配置
6 専門的知識をもった人材活用				
歩行訓練士、作業療法士等の外部人材の配置	H30 (2018)	—	2023	配置拡大

項目	現況		目標	
	年度	数値等	年度	数値等
第2章 教員の専門性の向上				
1 全ての校種に求められる幅広い専門性				
2 幼稚園・保育所等、小中学校				
1 研修の充実				
特別支援教育に関する研修への参加率 ※名古屋市・私立を除く				
幼稚園	H29 (2017)	87.5%	2023	前年度を上回る
小学校		86.2%		
中学校		81.9%		
2 特別支援学校との連携強化				
モデル事業の教育的効果（再掲）	H29 (2017)	肢体不自由	2023	他障害種への 拡充
3 特別支援学校教諭等免許状の保有率の向上	H29 (2017)	22.8%	2023	全国平均を上回る
4 リーダーとなる人材の育成 ※名古屋市・私立を除く				
人事交流 〔小中学校から特別支援学校へ 特別支援学校から小中学校へ〕	H30 (2018)	小中→特 28人 特→小中 4人	2023	前年度を上回る
3 高等学校等				
1 研修の充実 ※名古屋市・私立を除く				
特別支援教育に関する研修への参加率	H29 (2017)	80.9%	2023	前年度を上回る
2 専門性の更なる向上 ※名古屋市・私立を除く				
人事交流 〔高等学校から特別支援学校へ 特別支援学校から高等学校へ〕	H30 (2018)	高→特 2人 特→高 1人	2023	毎年度
4 特別支援学校				
1 研修の充実	H30 (2018)	—	毎年度	理解度 90%以上 アンケート調査
2 特別支援学校のセンター的機能の強化				
県立高等学校における通級による指導への支援	H30 (2018)	1校 (モデル校)	2023	設置拡大
3 人事交流の活性化（再掲） ※名古屋市・私立を除く				
〔小中学校から特別支援学校へ 特別支援学校から小中学校へ 高等学校から特別支援学校へ 特別支援学校から高等学校へ〕	H30 (2018)	小中→特 28人 特→小中 4人 高→特 2人 特→高 1人	2023	前年度を上回る
4 研究の充実	H30 (2018)	—	2023	前年度を上回る
5 特別支援学校教諭等免許状の保有率の向上	H29 (2017)	64.9%	2020	100%

項目	現況		目標	
	年度	数値等	年度	数値等
第3章 教育諸条件の整備				
1 共生社会の実現に向けた基礎的環境整備及び合理的配慮の充実				
2 幼稚園・保育所等、小中学校				
小中学校への特別支援学級の設置	H30 (2018)	3,416 学級	2023	設置拡大
3 高等学校等				
「通級指導教室」の設置	H30 (2018)	1校 (モデル校)	2023	設置拡大
4 特別支援学校				
1 特別支援学校の整備				
西三河南部地区新設特別支援学校の整備 (知的障害、肢体不自由併設)	H30 (2018)	—	2022	新設開校
空調設備整備 (全ての特別支援学校)	H29 (2017)	45.3%	2020	100%
2 通学環境の改善				
スクールバス車両の更新 (肢体不自由特別支援学校)	H30 (2018)	1台	毎年度	対象車両の 順次更新
第4章 卒業後の生活へのスムーズな移行				
1 卒業後における自立と社会参加の促進				
2 大学等高等教育機関との連携				
卒業生の進学情報の発信 (在校生、保護者)	H30 (2018)	—	2023	実績に応じ 100%
3 関係機関と連携した就労支援				
2 就労先の拡大				
特別支援学校高等部卒業生の一般 就労の就職率	H29 (2017)	38.2%	2023	50%以上
就労支援アドバイザーによる就労 先訪問件数	H29 (2017)	364件	2023	前年度を上回る
4 特別支援教育の生涯学習化				
生涯学習情報システム「学びネットあ いち」トップページのアクセス件数	H29 (2017)	111,801件	毎年度	前年度を上回る